

特別支援教育

特別支援教育とは、教育上、特別の支援を必要とする生徒（LD、ADHD、自閉症スペクトラム障害等）の自立や社会参加に向けて、一人一人の教育的ニーズを把握して、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するために、適切な教育や指導を通して必要な支援を行うものである。

1. 通常学級に在籍する生徒

目 標

発達障害の状態を示す生徒や、集団での活動に不応を起している生徒に対して、その状況および特性等を考慮した、より効果的な指導方法および評価、支援の在り方を探る。

本年度の努力目標

巡回指導員やスクールカウンセラーの協力を得ながら、対象となる生徒の実態把握を行い、個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成、実施、評価するための研究を行う。

基本方針

- (1) 担当する教科や学年を超え、教師間の心の交流を配慮し、互いに話し合える時間を持つよう心がける。
- (2) トライルーム通級生徒、不登校生徒、別室登校生徒の実態を捉え、情報交換することにより、理解を深める。
- (3) スクールカウンセラーと連携し、個別の支援が必要な生徒やその保護者に対する教育相談を充実させる。
- (4) 特別支援教育に関する知識・理解を深めるための校内研修会を計画する。
- (5) 障害の診断の有無にかかわらず、発達障害の状態を示す生徒を把握する。
- (6) 発達障害の状態を示す生徒を個別に支援するための校内体制を構築する。
- (7) トライルームとの連携を密にし、適切な支援の方法を研究する。
- (8) 地域の小学校との連携を密にし、適切な支援の方法を研究する。

2. 特別支援学級に在籍する生徒

目 標

個に応じた指導を通して、生活経験を豊かにし、その能力を最大限に伸長させて、社会自立のできる生徒を育てる。

方 針

- ① 基礎的な学習内容を系統的に反復練習させることにより、学ぶ喜びを与える。
- ② 作業学習を通して労働の大切さを学び、成功の喜びを体験させ、仕事に対する意欲と能力を向上させる。
- ③ 健康と安全に留意して、楽しい学校生活を過ごさせる。
- ④ 学校行事、特別活動、交流授業に積極的に参加させ、集団生活への適応を図る。

留 意 点

- ① 全教職員の理解と協力の中で取り組む。
- ② 生徒個々の成長発達を具体的に記録する。
- ③ 生徒の生活、学習、健康に注意して、保護者との連携を密にする。
- ④ 生徒の実態に合ったカリキュラムと教材を研究する。
(保護者の希望や個人の能力に合った進路を考えに入れる)
- ⑤ 体験学習を通じて、より社会性を身に付けさせる。
- ⑥ 日常生活のマナーや技術を習得させる。(基本的生活習慣の確立)